

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局
 〒545 大阪市阿倍野区旭町1-4-54
 大阪市立大学医学部環境衛生学教室内
 TEL 06-645-2056

発行責任者 堀 口 俊 一

日本産業衛生学会近畿地方会 第39回 総会ご案内

日本産業衛生学会近畿地方会
 会長 三 浦 武 夫

今年の地方会総会は下記の通り開催いたします。

会員各位の多数のご参加をお待ちいたしております。

日時：平成3(1991)年6月6日(木)

午後2時15分～5時

場所：大阪府立公衆衛生研究所4階講堂

〒537 大阪市東成区中道1-3-69

☎ 06-972-1321

JR環状線森ノ宮駅下車徒歩5分

(成人病センター南隣)

日本産業衛生学会近畿地方会評議員会ご案内

日時：平成3(1991)年6月6日(木)

午後1時15分～2時15分

場所：大阪府立公衆衛生研究所4階講堂

評議員会の出欠は同封のはがきで5月31日までに
 お願い致します。

会場の都合で昼食をご用意致しておりませんので
 昼食を済ませてお集まり下さい。

プログラム

総会

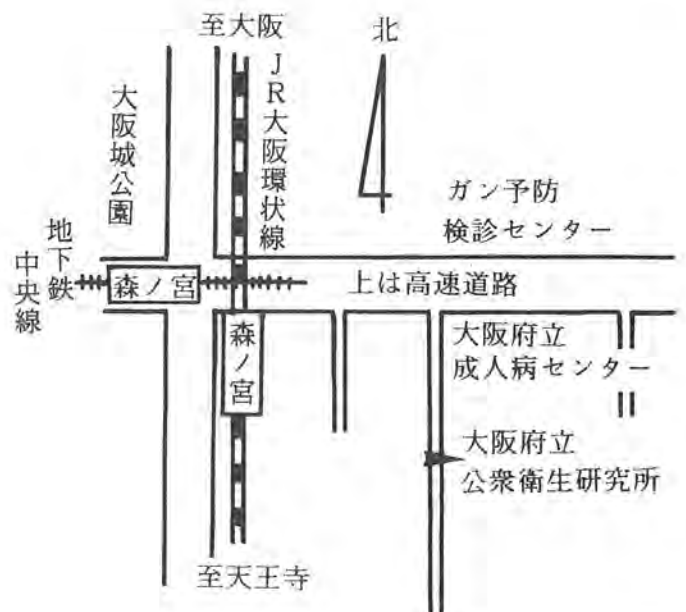
1. 議事 午後2時15分～3時

- 1) 平成2(1990)年度事業報告および会計報告
- 2) 平成3(1991)年度事業予定および予算
- 3) 第64回日本産業衛生学会第50回日本産業医
 協議会の報告
- 4) 日本産業衛生学会創立60周年記念「近畿地
 方会の歴史」発行について
- 5) その他

2. 特別講演 午後3時15分～5時

『健康科学と公衆衛生』

大阪府立公衆衛生研究所所長 小町 喜男



平成3(1991)年度第31回近畿産業衛生学会(学会長・塚本利之
 兵庫医大教授)のお知らせは次号(No.7)ニュースに掲載します。

〈研究会のお知らせ〉

職業性腫瘍研究会

日時：平成3(1991)年6月29日(土) 14:00から
場所：大阪府立成人病センター1F
カンファレンスルーム
話題：1) 労働衛生で問題となる発がん物質と
その発がんの機構
川西 正祐(京大・医・公衛)
2) 石綿処理業者からみた吹付アスベスト
問題
山本 甫(亀谷技研)
連絡先：森永謙二(大阪府立成人病センター調査部)
☎ 06-972-1181 ext 2308

平成3年度 産業看護研究会(第1回)

日時：平成3年8月29日(木) 13:00~15:00
場所：大阪府教育会館 たかつガーデン
〒543 大阪市天王寺区東高津町7-11
☎ 06-768-3911
テーマ：効果的な健康づくりをめざして
— 私達の行動変容から —
宗像 恒次(筑波大)
連絡先：上田 美代子
(近畿健康管理センター産業保健栄養指導室)
〒532 大阪市淀川区西中島5-13-9
新大阪森ビル3F(お問い合わせは文書で)

〈関連学会等のご案内〉

第18回 日本毒科学会学術年会

日時：平成3(1991)年7月24日(木)・25日(木)
場所：大阪国際交流センター
〒543 大阪市天王寺区上本町8-2-6
特別講演：エコ・バイオトキシコロジーと
その予防トキシコロジーへの応用
和田 攻(東大・医・衛生)

シンポジウム：制癌剤の毒性
ワークショップ1：吸入毒性：粉塵・エアロゾル曝露の制御技術
ワークショップ2：化学物質の毒性と活性酸素
ワークショップ3：毒性評価のための多面的アプローチ
特別委員会ワークショップ：組織培養法を応用した臓器毒性の新しい評価法の現状と将来
連絡先：〒545 大阪市阿倍野区旭町1-4-54
大阪市立大学医学部環境衛生学教室内
第18回日本毒科学会学術年会事務局
☎ 06-645-2056

事務局からのお願い

1. 地方会費納入のお願い
1) 地方会費は2,000円です。同封の払い込み用紙で郵便局から払い込んで下さい。
口座番号は大阪0-305488, 加入者名：日本産業衛生学会近畿地方会。
2) 払い込み人と会員名が異なる場合は、必ず通信欄(裏)に会員名をご記入下さい。ご記入のない場

〈産衛学会からのお知らせ〉

国際シンポジウム

行動科学—健康問題の解明と解決に果たす役割—

Behavioral Sciences :

Their Role in Health Science and Policy

期 日：平成3年7月5日(金) 午後~7日(日) 午後
会 場：東京大学山上会館(東京都文京区本郷)
連絡先：〒113 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部公衆衛生学教室
☎ 03-3812-211 Ext 3493
Fax 03-3816-4751

第13回アジア労働衛生会議(ACDH)及び 第3回東南アジア人間工学会議(CS・EAES)

日 時：平成3年11月25~27日
(11月28~29日 サテライトシンポジウム)
場 所：セントラルプラザホテル、バンコック、タイ国
演題募集締切：平成3年7月15日(月)
問合せ先：北海道大学医学部衛生学教室 斎藤和雄
☎ 011-716-1161 内 5906
Fax 011-714-1140

合は、送金されましても会員名不記載のため送金された人の会費とはなりませんのでご注意ください。
3) 経費節約のため、領収は郵便局の領収印にてご確認いただき、事務局からの送付は省略させていただきます。
4) 総会当日地方会費を受け付けております(地方会からの領収書を発行しますのでご利用ください)。
2. 事務局へご提案、ご意見、お問い合わせ、連絡等は必ず文書でお願いします。

第64回日本産業衛生学会第50回日本産業医協議会の開催を終えて

企画運営委員長 堀口 俊一

大阪国際交流センターにおいて、去る3月29日から4日間にわたって開催されました表記の学会は無事終了いたしました。これはひとえに近畿地方会員の協力のたまものであり、大いに慶びとするところであります。

顧みますと平成元年度第1回本部理事会(6月17日)において、平成3年度の学会および産医協は近畿地方会で担当するようとの決議がなされ、同月30日の地方会理事会上において企画運営委員長を小生がお引き受けすることになりました。そこで企画運営委員会が組織され、11月11日近畿産業衛生学会における評議員会で承認され、12月22日に第1回企画運営委員会が開催されて以来、第2回(平成2年4月20日)、第3回(同年5月18日)、第4回(同年6月15日)、第5回(同年7月11日)、第6回(平成3年1月25日)まで6回の委員会がもたれました。企画運営には地方会員の意見をできるだけ反映させて行くことを基本方針として、熱心な討議のもとに準備が進められました。第6回をもって、企画運営委員会は発展的に解散し、新しいメンバーを加えて実行委員会に移行し、平成3年2月22日に実行委員会が開かれて、学会開催に至りました。

大阪府医師会の御協力もあって、3月29日の特別研修会は大ホールが満席となり、VTRでの受講者も相当数に上りました。また学会参加者も予定の1600人を上廻り2000人に達する盛況でした。国際交流センターを会場としたこと、企画内容など好評であったようです。

最後に、御協力いただきました近畿地方会員各位、大阪府医師会の先生方、その他の方々に改めてあつくお礼申し上げます。

地・人・時の利の相乗効果

副委員長(学術担当) 原 一郎

兵法が重要性を強調している「地・人・時の利」が、相加的のみならず、相乗的に作用したことによって、今回の産衛学会は、学術面においても十分な成果を上げ得たと感じている。私自身は、関西医大退職直前の雑務に追われて、任せられた学術担当の役割を、申訳なくも中途半端にしか勤め得なかった。しかし、各パートの担当者の熱心なご努力によって、すばらしい企画が順調に運営された。

近畿地方会ではかねてから、多くの会員が民主的に討論し、決定する気風があり、今回も、いろいろな意見が次第に煮詰められて最終決定に到ったことが、この成功をもたらしたように、私には思われる。

あえて残念だったことを探すと、ポスター展示を1会場でなく2会場を使って、より広いスペースで行なえば良かった、との思いが残っていることである。それにしても、事務局の大変なご苦勞には、厚く厚く御礼申し上げます。

副委員長(総務担当) 原田 章

平成3年度の日本産業衛生学会日本産業医協議会は大盛會裡に無事終了しました。これはひとえに会員皆様のご協力のおかげであり、厚く感謝致しますとともに、総務担当として、学会運営に参加しました一人として、行き届かなかったことが如何におおかったかを反省しています。

今回の学会には、ILO在勤中の小木先生が帰国され講演されましたほか、韓国、中国からかなりの人達が参加されるなど、国際化がポツポツながら進んでいるように見えます。しかし今一つという感じがしないではありませんが、学会懇親会で中国の劉先生に乾杯の音頭をとってもらったことで、吹っ飛んだように思います。

学会参加者も実に多くなり、発表演題の種類も数も多かったことはうれしい現象のようですが、反面発表時間が重なり聞きたいものを聞くことが出来ないことが多くなりました。これをどう解決して行くかが大きな課題でしょう。ポスターセッションが、私には意外なほど活発でありましたが、こういった企画の推進もその解決の一方法かも知れません。

いずれにせよ学会運営に当たられた方々、本当に御苦勞様でした。



副委員長(財務担当) 藤木 幸雄

4月1日も平穩の内に終わり、また新しい年が始まっています。

学術、総務、財務の各部門も順調に推移しましたのも、各企画実行委員の努力の賜と嬉しく思っています。

小生も日本産業衛生学会委員になってから、20年という月日が流れ、ある程度の役割分担が賦せられる年齢に達したかと考える時、刀圭の道はなお遠く、人生という道標も幾重にもみえます。

4月末にやっと“吾輩は猫である”を読み終え、漱石の高踏派と呼ばれる由縁を再認しました。と同時に再現と再認の差を痛感している昨今です。再現は易く、再認は難しと……。

第64回日本産業衛生学会は、今後の専門部会制度を考える時、大きな変改期間であったと思います。研修会を含め、堀口俊一会長の下で、思い出、近畿地方会の結束という意味でも、良き印象を残されたものと確信しました。



受付風景



近藤東郎理事長



堀口俊一企画運営委員長



シンポジウム風景



口演発表会場



ポスター展示会場



地域交流会会場



三浦武夫地方会長



劉世傑北京医科大学教授



懇親会